就活生必見!!

Withコロナ時代に加速するDXに欠かせない半導体

プログラム

9:50～　**開催の挨拶**
平野 嘉仁（三菱電機 株式会社／応物副会長）

9:55～　**基調講演「2030年に向け高速化要求が牽引する半導体業界」**
山本 義継（みずほ証券株式会社）

10:35～　**基調講演「「新常態」半導体産業を支える安全・サポート」**
吉崎 教裕（キヤノン、SEAJ安全・サポート部会長）

10:55～　**技術者のショートプレゼンテーション**（10分×7名）

12:05～　**閉会の挨拶**
渡部 潔　（SEAJ専務理事）

技術者ショートプレゼン内容

	会社名	氏　名	テーマ
1	ソニーセミコンダクタ ソリューションズ株式会社	萬田　周治	ゼロから創り上げる 半導体新規デバイス開発の醍醐味
2	株式会社東京精密	林　博和	学生時代の研究テーマと 現在の業務内容
3	株式会社堀場製作所	染谷 翔太	HORIBAの計測技術による 半導体産業への貢献
4	株式会社KOKUSAI ELECTRIC	中谷　公彦	考える仕事がしたい！ と思って飛び込んだ半導体業界
5	株式会社東京精密株式会社 SCREENセミコンダクターソ リューションズ	繁桝　翔伍	半導体製造装置の エンジニアになって3年
6	株式会社日立ハイテク	近藤　勇樹	最先端の半導体プロセスに向けた エッチング装置開発
7	キオクシア株式会社	塩川　太郎	メモリ研究開発の最前線 ～四日市工場編～

～基調講演者情報～

基調講演「2030年に向け高速化要求が牽引する半導体業界」

山本 義継：　みずほ証券株式会社
半導体製造装置セクター　シニアアナリスト

＜*プロフィール*＞

一橋大学大学院 商学研究科修士課程修了後、1996 年に 野村総合研究所に入社。その後、1999 年にメリルリンチ証券会社、2003 年にUBS 証券会社、2011 年にBNP パリバ証券会社と、アナリストとしてのキャリアを重ねながら、一貫して半導体製造装置、半導体材料、半導体デバイスの分野の企業分析に携わり、2015年より現職。
現在は、半導体関係の日本を代表するハイテク企業のアナリスト・カバレッジに名を連ねるとともに、企業分析に加え市場動向分析＆解説に活躍している。講演多数。

基調講演「「新常態」半導体産業を支える安全・サポート」

吉崎教裕：キヤノン株式会社　光機事業統括センター主席
ＳＥＡＪ運営委員、安全･サポート部会長

＜*プロフィール*＞

東京都文京区生まれ。1986年中央大学理工学部を卒業。コツコツ嫌いの理工系と自覚していたため、単調な生活だと勝手に思い込んでいた地方の工場勤務には抵抗があり、社交的なエンジニアを目指したいという動機で、キヤノン販売（現キヤノンマーケティングジャパン）へ入社。
当初より半導体･ＦＰＤ露光装置の営業技術を担当し、業界創世期の重鎮たちよりビジネスのイロハを教示され、それが今でも大きな財産になっている。露光装置の講演は数多くおこなった。

2000年以降は、半導体デバイス製造のモメンタムは日本から東南アジアへと移りはじめたため、数多くの海外出張を経験してきた。また度重なる緊急事態により、顧客先の製造ラインが被災した場合には、いち早く復旧できるよう最善を尽くすことが重要であるが、その場合でも技術者･研究者の安心安全は最優先であると考えている。

半導体産業に従事するエンジニアにとっての魅力は、日本の製造装置･材料･部品は国際的にも優位性があることであり、その最先端技術を通して一足早く社会を見渡せることは、「やりがい」や「面白さ」が実感できることであり、是非とも次世代へ継承していきたいものである。

～技術講演者情報～

テーマ	ゼロから創り上げる半導体新規デバイス開発の醍醐味
アブストラクト	学生時代は物理学を専攻していたことから物性の知見を活かした半導体デバイス開発に興味があり、デバイスメーカーに就職しました。世の中があっと驚くようなデバイスを創りたい！という思いで、新規デバイス研究開発に携わっております。当日の講演ではゼロから1を創り出しデジタルトランスフォーメーション(DX)の基盤となる新しい価値を世の中に提供する半導体新規デバイス開発の魅力をソニー開発現場の雰囲気を交えながらお伝えしようと思います。
会社名	ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
所属部署	第2研究部門・統括課長
氏名	萬田　周治
出身大学名	北海道大学大学院理学研究科物理学専攻
入社年	

テーマ	学生時代の研究テーマと現在の業務内容
アブストラクト	入社して8年、主に半導体用レーザ加工機の開発評価の業務を携わっております。大学時代は基礎物性専攻だったため半導体業界との関わりは少なかったですが、研究内容である光物性の知識を新しい分野に応用しながら業務を進められています。 当日は業務紹介に加え、研究と実務の共通点や相違点などの体験談をお話します。
会社名	株式会社東京精密
所属部署	半導体社　開発部
氏名	林　博和
出身大学名	広島大学大学院 物理科学専攻
入社年	2013年度

～技術講演者情報～

テ　ー　マ	HORIBAの計測技術による半導体産業への貢献
アブストラクト	半導体産業ではプロセス管理の為に様々な計測技術が必要とされている。HORIBAでは半導体での計測要求に応えるため高精度な流量制御、薬液濃度制御、およびレーザ散乱を用いたレチクル上異物計測で半導体プロセス全般に貢献を行っている。本講演ではHORIBAの半導体関連技術を説明することで半導体製品、業界に対するイメージをつけ、自身の海外赴任経験を交えながら半導体業界の具体的な仕事に関しての説明を行う。
会　社　名	株式会社堀場製作所
所 属 部 署	開発本部　科学・半導体製品開発センター　Project PD
氏　　名	染谷 翔太
出身大学名	
入　社　年	

テ　ー　マ	考える仕事がしたい！と思って飛び込んだ半導体業界
アブストラクト	大学では半導体の研究を行っていました。自ら考えたアイディアにより性能を改善出来たときの達成感は、今でも覚えています。そんな半導体業界で「考える仕事がしたい」と思い、KOKUSAI ELECTRICに入社しました。半導体のある分野では、テニスコート4面分もの広大な表面積に対し、ナノレベルの薄膜を数原子レベルで均一に成膜する技術が求められます。世界一の成膜技術を目指し、世界中の協力会社やお客様と考える日々をお伝えします。
会　社　名	株式会社KOKUSAI　ELECTRIC
所 属 部 署	技術開発本部　要素技術開発部
氏　　名	中谷　公彦
出身大学名	
入　社　年	

～技術講演者情報～

テ　ー　マ	半導体製造装置のエンジニアになって3年
アブストラクト	学生時代は化学を専攻していましたが、とあるきっかけで半導体製造装置メーカーに勤めることに。就職して早3年、熱処理装置のエンジニアとして顧客サポートからアプリケーション開発まで、日々充実した生活を過ごしています。本講演では、1.何故この業界に足を踏み入れたのか、2.エンジニアとして3年間仕事をして何を学び、何を感じたのか、これらについてお話ししようと思います。
会　社　名	株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ
所 属 部 署	フロンティア技術統轄部 熱処理プロダクト部 プロセス技術課
氏　　名	繁桝 翔伍
出身大学名	大阪大学　大学院基礎工学研究科　物質創成専攻
入　社　年	2018年

テ　ー　マ	最先端の半導体プロセスに向けたエッチング装置開発
アブストラクト	私は学生時代に半導体材料に関する研究を行っていました。その研究のなかで、半導体デバイスを作り上げる過程に興味を持ったことから、半導体製造装置のプロセスエンジニアとして就職しました。半導体は日々進化を続け、エッチングの難易度も上がっています。最先端の半導体をエッチングするための装置開発について、プロセスエンジニア視点でお伝えします。
会　社　名	株式会社日立ハイテク
所 属 部 署	ナノテクノロジーソリューション事業統括本部　プロセス設計部
氏　　名	近藤 勇樹
出身大学名	
入　社　年	

～技術講演者情報～

テ　ー　マ	メモリ研究開発の最前線～四日市工場編～
アブストラクト	私は2014年に修士卒で入社し、3次元フラッシュメモリの開発に6年間従事しました。先端技術の開発を行う中で、自らの知識と思考力を深めたいとの想いから2018年に名古屋大学へ社会人入学し、業務の傍ら週末に大学に通い、昨年学位を取得。現在は次世代メモリの基礎研究に取り組んでいます。四日市工場という世界有数の大規模工場において、最先端のメモリ研究を行う面白さとやりがいについて話したいと思います。
会　社　名	キオクシア株式会社
所 属 部 署	メモリ技術研究所
氏　　名	塩川　太郎
出身大学名	
入　社　年	

MEMO